



「栄養情報提供書（サマリー）」 の活用について

栄養科長
井堀 園美

はじめに

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを、人生の最後まで続ける事ができるように、地域包括ケアシステムの構築が進められています。生活習慣病の重症化や栄養状態の低下などによる、長期療養の方々が増える中で、入院しているのは重症の患者さんのみとなり、病気を抱えた多くの方々が、地域の中で生活する時代になろうとしています。毎日摂取する食事の役割は重要で、食事から栄養状態の低下を防ぎ、生活の質を維持する事が可能となります。

地域包括ケアシステムでは、療養の場所が、病院、施設、在宅などに移っても、病状にあった安全で適切な食事の提供を、切れ目無く受けられることが望まれます。



「栄養情報提供書（サマリー）」とは

サマリーは診療記録の一つで、病歴などを要約した物です。「栄養情報提供書（サマリー）」は、食事の内容、形態、栄養状態、アレルギー情報など、食生活に関する栄養ケア情報をまとめたもので、栄養士が記載します。

栄養サマリー（データ版） 管理栄養士⇒管理栄養士

下記患者様の栄養管理、摂食嚥下機能など、当施設での現状をご報告させていただきます。

氏名	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	生年月日	昭和 年 月 日	年齢	年 月 日
診断名	(平成 年 月 日発症)				
既往歴	摂食・嚥下関連のみ: <input type="checkbox"/> 脳血管疾患 <input type="checkbox"/> 神経系疾患 <input type="checkbox"/> 器質性疾患 <input type="checkbox"/> COPD <input type="checkbox"/> 認知症 <input type="checkbox"/> 緑内障				
身長	cm	測定不能	BMI	体重減少	血液検査値
体重	kg	測定不能	W/DV/0	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	Alb 6/d
栄養補給方法	<input type="checkbox"/> 経口 <input type="checkbox"/> 経管 <input type="checkbox"/> 静脈 経腸栄養剤の製品名:				
提供食事内容	<input type="checkbox"/> 一般食 <input type="checkbox"/> 治療食 <input type="checkbox"/> 嚥下訓練食 嚥下: <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有				
エネルギー	kcal	治療食/療養食	減量	減	量
蛋白質	g	主食	スベラールゼ	<input type="checkbox"/> 使用 <input type="checkbox"/> 不使用	
水分	ml	100g	その他()		
副食	ペースト	処理方法	ミキサー	その他()	
嚥下調整食②	汁物	<input type="checkbox"/> そのまま <input type="checkbox"/> ゼリー	<input type="checkbox"/> とうもろ	その他()	
トロミ剤使用	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	名称	使用グラム数		
トロミ加減			その他()		
摂食対応・制限事項	主食: <input type="checkbox"/> 10割 <input type="checkbox"/> 分 副食: <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有				
水分摂取状況	<input type="checkbox"/> そのまま <input type="checkbox"/> ぬい飲み使用 <input type="checkbox"/> スロー使用 <input type="checkbox"/> H2O使用 <input type="checkbox"/> 水分補給ゼリー <input type="checkbox"/> その他()				
食事介助の必要性	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部分助 <input type="checkbox"/> 半介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他()				
使用食器・器具	<input type="checkbox"/> ばし <input type="checkbox"/> 小さずみ <input type="checkbox"/> 中スプーン <input type="checkbox"/> 大スプーン <input type="checkbox"/> 小フォーク <input type="checkbox"/> 大フォーク <input type="checkbox"/> エプロン <input type="checkbox"/> その他()				
好きな食べ物	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有				
嫌いな食べ物	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有				
食物アレルギー	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有				
服薬による禁忌	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有				
食事に関する課題点	食事に対する本人・家族の要望				
特記事項					

ご不明な点はお連絡ください。よろしくお願いいたします。平成 年 月 日

施設名 茅ヶ崎市立病院 記入者(管理栄養士)

連絡先 電話: 0467(52)1279 FAX: 0467(52)1279

神奈川県茅ヶ崎市健康福祉事務所地域食生活対策推進協議会 平成29年度作成

退院後どこの場所で、どんな栄養サービスを受けられるかは、とても大切な問題です。食事の提供や栄養サポートは、退院したその日から始まります。入院中と変わりがなく、継続される必要があります。

「栄養情報提供書（サマリー）」は主食量、主食形態、副食形態、水分摂取状況、摂取量、補食、嗜好など患者さんの目線で記載されています。

「栄養情報提供書（サマリー）」を利用する事により、退院直後から、適切な食事サービスの提供が実施できます。

「栄養情報提供書（サマリー）」の展開

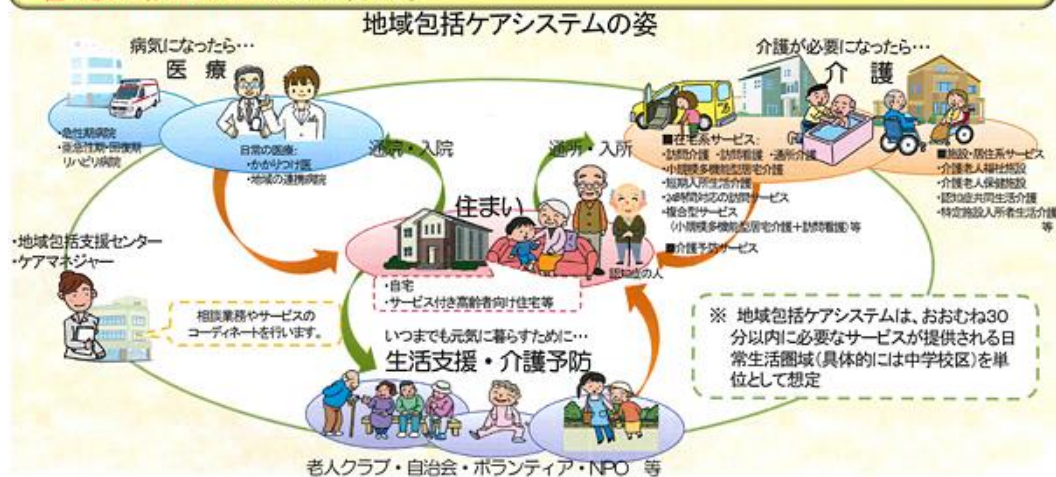
茅ヶ崎・寒川地区では、2010 年度から、病院栄養士から施設栄養士へ「栄養情報提供書（サマリー）」の運用を始めました。2017 年度からは栄養士からケアマネジャー（介護支援専門員）さんへ「栄養情報提供書（サマリー）」による情報共有を進めています。栄養士が不在の環境でも、ケアマネジャー（介護支援専門員）さんの協力を得て、栄養情報を繋げられるシステムが出来つつあります。

最後に

療養の場所が移っても、「栄養情報提供書（サマリー）」の活用で、食事形態に悩むことが無く、安全な食事を提供できるシステム作りに取り組んでいます。食べられる事への喜びを忘れずに、色々な職種の方々と連携し「栄養情報提供書（サマリー）」の普及に努めます。

地域包括ケアシステム

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現していきます。**
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差が生じています。**
地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要です。**



出典：厚生労働省HP「地域包括ケアシステム」